岩盤ボーリング柱状図

調査名　一般県道　竹原吉名線　道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-1	調査位置	竹原市吉名町掛之浦	北緯	34° 19’ 14.8249″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 1月 9日～ 令和3年 1月11日	東経	132° 52’ 26.5183″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 37.32m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1 / エンジン：ヤンマーNS110 / ポンプ：東邦BG-3B

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
	36.32	1.00	SF	砂質土	茶褐							微細砂～細砂を主体とし、粘性土を含有する。含水は少ない。概ね均質である。GL-0.4m以浅は木根を混入する。
	34.52	2.80	Ta	凝灰角礫岩	茶褐～褐灰	w5	h3	E	Ⅶ	d	D	基質は固結したシルト～微細砂状。GL-1.0～2.0m付近は径2～5mm程度のクサリ礫を多く含む。GL-2.0～2.8m付近は径5～20mm程度の硬質な角礫を多く含む。岩級区分：DL(砂質土)
	31.32	6.00	Rat	流紋岩質凝灰岩	黄褐灰～淡緑灰	w5	h3	E	Ⅵ	d	D	岩組織は認められるが、指圧により容易に砕け微細砂～細砂状に粉砕される。岩級区分：DL（砂質土）
	28.32	9.00	Rat	流紋岩質凝灰岩	暗緑灰～黄褐灰	w5	h3	E	Ⅵ	d	D	高田流紋岩類。岩組織と亀裂が明瞭に認められる。指圧で容易に砕け、シルト混じり微細砂～中砂状を呈する。亀裂角度は80°程度で、直角方向にも同様な亀裂がみられる。亀裂面は暗褐色を呈する。岩級区分：DH（軟岩I）

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標準貫入試験 深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
18	1.15	18		
	1.45	300		
42	2.15	42		
	2.45	300		
19	3.15	19		
	3.45	300		
24	4.15	24		
	4.45	300		
21	5.15	21		
	5.45	300		
50以上	6.10	50	210	
	6.31	210		
50以上	7.10	50	140	
	7.24	140		
50以上	8.00	50	100	
	8.10	100		
50以上	9.00	50	100	
	9.10	100		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
	4.15 含水量 粒度	1/9		66／ケーシング	S／MC					
	4.45				D／MC					
	7.10 含水量 粒度			66	D／MC					
	7.24	1/11			D／DB					